

# 森林やまがた

No. 46

2001 1月

## 謹賀新年



第53回全国植樹祭 大会ポスター原画最優秀作品

### 目次

第53回全国植樹祭 大会ポスター原画最優秀作品…	1
「森があるしあわせ」の実現を 目指そう……………	2
今年の活動を振り返って……	3
第53回全国植樹祭 大会ポスター原画決定される…	4
着々と進む「遊学の森」 整備事業……………	5
上手に樹木と暮らすために…	6
県産きのこの品質を競う……	7
現地ルポ 好評！「森の社交場」…………	8
流域林業活性化シンポジウム 開催される……………	9
山形県の名水・湧水……………	10
山形県の古木・名木……………	10
木材市況……………	12



第53回全国植樹祭

感じていますか 森があるしあわせ



「森があるしあわせ」の  
実現を目指そう

山形県森林協会  
会長 松田 堯

新年明けましておめでとうございませす。

二十一世紀の幕が明けました。IT化、高齢化、地球温暖化、循環型、等々これからのわが国社会を象徴するであろう言葉が思い浮かびますが、活力のある平和な時代であつて欲しいと念ずるのは、私一人ではないでしょう。

新世紀は環境を守るために、また資源の有効活用を図る上で、地球的規模で森林の重要性が高まるのは必定と考えられています。それが、それにしても、わが国の林業の衰退、山村社会の変貌は、まさに危機的状況を呈している。と云つても過言ではありません。国においては林業基本法の改正が進められ、当県でも「やま

がたの森林づくり施策」が検討

されており、その成案が俟たれるところですが、協会としても

新たな発想に立つて、会員が一人丸となつて難局の打開に向かつて

努力をする決意を新たにしたいと存じます。

昨年を振り返つてみるときに、森林協会が発足したこと、林業

まつりが年々盛大になり森林との共存の実が向上しつつあること、

また、間伐材の利用、林業建設工事さらには緑の少年団の

活動発表大会等いずれも全国的規模のコンクールで最優秀の受賞

があつたこと等々、輝かしい成果が挙げたことはまことに喜

ばしく、関係者のご努力に敬意を表する次第です。

山形県は有数の森林県であり、最上川を中心とする固有の森林文化をもっているにもかかわらず、林業の姿が見えにくいのですが、現在の厳しい局面における努力の積み上げが、健全な森林を造成し、県土の安全性と生活の安定性に寄与するものと確信しています。

当面忘れてならないのは、いよいよ来春に迫つた第五十三回全国植樹祭への取り組みです。この国民的行事は、毎回テーマ

が決められますが、その移り変わりは、その時々国民生活と

森林との係わり合いを示すものとなつています。最初の頃は国

土保全が中心でしたが、その後木材生産へ、そして環境の保全

へと推移してきました。

昭和三十五年、蔵王山麓で行われた第十一回全国植樹祭のテ

ーマは、「積雪寒冷地帯 林種転換拡大造林」でした。今回のテ

ーマは「感じていますか 森があるしあわせ」であり、時代の大きな変化を痛感するところです。このテーマは、私共の日常生活のなかで、森林の多面的な機能を直接・間接しつかり享受できるよう、森林との共存のあり方を課題にしているものと理解しています。そして、しあわせを感じるような森林との共存実現への努力こそ、二十一世紀の活力ある平和な時代を保障することになると考えます。

云うまでもなく、森林協会は川上から川下まで各種の団体から構成されております。会員それぞれの実業の発展は、森林との共存が実現することを意味します。新世紀のスタートにあたり、「森のあるしあわせ」の実現を目指すことを提起申し上げるとともに、会員の皆様のご協力とご健勝を祈念し、新年のご挨拶といたします。



炭焼き窯で炭出し体験

私たち温海町緑の少年団は、山戸小学校の三年生以上、三十八名でいろいろな活動をしています。五月には家の方々と一緒に、サツマイモ植え、ナメコの植菌・炭焼き体験を行いました。低学年はナメコの植菌、全学年でサ

活動の少年団報告



今年の活動を振り返って

温海町緑の少年団

五年 伊藤 双美

ツマイモの苗植えをしています。炭焼きを見学している時はかまの中が真っ赤になっていて顔がとても熱いです。最後にまだ熱い炭がもらえるのでうれしいです。毎年、六年生は炭出し体験もできるので、来年は私もぜひやってみたいです。

七月には、去年から楽しみにしていた一泊の五年生自然教室がありました。自分たちでどこで何をするのかも決めました。今年、学校や家からはなれた山の中の藤堂広場という所で行いました。電気も水もないのでいろいろハプニングもあったけど、とてもいい思い出になりました。

五月から十月までは学校田の活動もしています。本間憲市さんにお世話していただき、田植



この他にも年間を通して花いっぱい運動をしています。春と秋にいっぱい花が咲くように、

なめこもいっぱいとしたよ！

地域の人たちと一緒にパイパスに花の苗植えをしたり、学校の花壇に球根を植えたりしています。入学式のところにチューリップがたくさん咲くと嬉しいです。また、今年は校庭の杉を切ったので、

えや除草、稲刈り、脱穀をがんばりました。

十一月には収穫したお米やサツマイモ・ナメコを使って、おにぎりや芋煮を作り、感謝の会を開き、お世話していただいた方々と会食しました。自分たちで作った作物はかくべつです。お客様も「おいしいのう」と食べてくださいました。

その杉を大切に使うと、山五十川林業クラブの方々が「丸太クラフト教室」を開いてくださいました。丸太のソーソーやベッチができて、びっくりしました。

周りの自然と一年中親しむことが出来る緑の少年団活動が大好きです。これからも続いています。

## 第53回全国植樹祭 大会ポスター原画決定される

七月から九月にかけて募集しました大会ポスター原画は、県内の小・中・高校から総数二二五点の作品が寄せられました。

先般、県農林水産部長を会長とする審査会において、慎重に審査され、ポスター採用作品となる最優秀賞に、金山町立有屋小学校一年 小沼大樹君の作品が決定されました。

この作品は、「真っ青な空に、眩しく輝く太陽のもと、子供たちが豊かな大地に育まれた緑いっばいの森の中に遊び、たわわに実った森の恵みに喜んでいる様子が子供らしく生き生きと表現され、まさに、大会テーマである『感じていますか 森があるしあわせ』の趣旨と合致して

いる。」というところで、審査員の先生方の講評が一致し、たいへん高い評価を得ての受賞でした。



金山町助役、県農林水産部参事、有屋小学校校長とともに受賞を喜ぶ小沼大樹君

また、優秀賞に酒田市立浜田小学校三年 石原若菜さん、新庄市立新庄小学校六年 笹原希さん、鶴岡市立鶴岡第一中学校二年 太田明日香さん、天童市立第二中学校二年 大泉裕美子さんの以上四人が受賞したほか、佳作として二十九点の作品が選ばれました。

この結果を受け、十一月二十四日に有屋小学校において、全国植樹祭山形県実行委員会事務局長の山村農林水産部参事をはじめ、会田金山町助役など関係者の出席のもと、最優秀賞の授与式が行われました。

全校児童六十二名が見守る中、式は和やかに進められ、山村参事が全国植樹祭の開催概要や関連するイベント計画などについて分かりやすく説明し、参加と協力を呼びかけました。

また、この授与式は、全国植

樹祭を通して県内外の方々と積極的な交流を図るとともに、改めて森を大切に育てる心をはぐくむことを、みんなで誓い合う場にもなりました。



山村農林水産部参事から賞状を授与される小沼大樹君

今後、小沼君の作品は、植樹祭の開催日が決定され次第、開催告知のPRポスターとしてデザインされ、全国都道府県、県内市町村などに掲示されることとなります。

〔県森林課〕



# 着々と進む「遊学の森」整備事業

第五十三回全国植樹祭  
会場整備へ向けて本格始動

「遊学の森」は、第五十三回全国植樹祭の開催を平成十四年に控え、現在急ピッチで工事が進んでいます。

工事は、全国植樹祭のメイン会場として予定されている有屋ゾーンの「浪漫の森」において平成十一年度から伐開などの準備工事に着手し、平成十二年度に用地造成工事、園内道路、芝生広場、植栽工事など森林公園の基盤となる部分を施工し、平成十三年度は御歩道、お野立所、三旗掲揚台などの植樹祭関連施設の整備を含めた仕上げを行い天皇皇后両陛下を始めとする県内外の招待者をお迎えするにふさわしい会場を整備する計画としております。

特に今回の工事で特筆すべき点は、資源リサイクルを実現するため工事残土、支障木などの建設副産物や建設廃材の有効活用を図るとともに、間伐材有効利用の取組みを全国植樹祭という大舞台の上で県内外へ広くPRすべく随所に工夫を凝らしながら工事を実施しております、これらの一例を紹介いたしますと

現場発生の表土等の盛土不適土は土壌改良のうえ芝生の植生基盤材

「遊学の森」整備事業実施一覧表

区 分	平成11年度		平成12年度	
	数量	工事費(百万円)	数量	予定工事費(百万円)
伐開・刈払・準備工事	6.0ha	—	—	—
表土保全・ストックヤード造成工事	2.5ha	35	2.5ha	21
用地造成工事	—	—	6.0ha	69
園内道路整備工事	—	—	2,728m	319
緑化基盤整備・芝付工事	—	—	3.5ha	145
給水・電気工事	—	—	1.0式	39
植栽・緑化工事	—	—	1.0式	34
計	—	35	—	627

に、伐開草木はチップ化し堆肥として、支障木は木製舗装材に加工し活用を図るほか加工が困難な除根類は破碎中間処理を行い有価物として植樹会場のマルチングに活用するなど、通常の工事では廃棄処分されるものまでもリサイクルしています。

また、県産間伐材の利用については、従前からの土木用資材としての活用に加え、L型擁壁の修景、列柱による視線誘導施設の開発など、新たな用途創出への取組みも行っています。公園利用面での配慮としては、極力園内の段差を排除するバリアフリー構造とし、歩道は水ハネ防止の透水性舗装、車道は冬の通行安全のための融雪性舗装を採用するなど、安全で快適に利用できる構造とする一方、車椅子と健常者との導線を区分する利用者の多様な能力に応じ



工事が進む「浪漫の森」全景

た楽しみ方が出来るような工夫を随所に凝らしています。「遊学の森」は、県内最後の県民の森として、有終の美を飾るにふさわしい公園となるようスタッフ一同知恵を絞りながら頑張っておりますので、今後とも皆様のご助言、ご指導をよろしくお願い申し上げます。  
〔最上地方事務所林業振興課〕



## 上手に樹木と暮らすために

山形市  
樹木医 山田 完爾



日頃なにげなく見ている公園、学校や社寺などに生育している樹木が、少しずつ元気が悪くなっている気がします。

根元回りを覆うときには、透水性のある舗装をすれば影響を最小限に止めることができます。同じように、生育土壌が踏みつけ

樹木が元気悪くなっている原因は、生育環境の変化、生育土壌の悪化、病気や害虫によるものなど様々考えられますが、その他に、人間によるものが少なくないような気がします。

けなどにより固くなりますと少しずつ生育不良や枯損の原因になります。樹木の生育土壌が固くなり、通気性や透水性などが悪くなり、生育不良の影響が現れてきます。この場合には、生育土壌の耕起が必要になります。

例えば、樹木の生育している根元回りをコンクリートやアスファルト等で覆ったりして、生育不良や枯損の原因を引き起こしている例です。

次に多いのが、人為的に幹に傷をつけたために、生育不良や枯損を引き起こしている例です。幹に傷をつけたりしますとその部分から腐朽が発生し、長い間には空洞化したりして樹勢を弱めてしまいます。万が一、幹に

樹木が良好に生育するために、通気性、透水性などの良い土壌条件が最も大切ですので、

傷をつけた場合には、早めに殺菌剤を塗布するなどの応急措置が必要です。同じように多く見られるのが生育している樹木が大きくなり、人為的に大枝を切ったりしたため、生育不良や枯損を引き起こしている例です。

傷をつけた場合には、早めに殺菌剤を塗布するなどの応急措置が必要です。同じように多く見られるのが生育している樹木が大きくなり、人為的に大枝を切ったりしたため、生育不良や枯損を引き起こしている例です。



樹木の観察風景

この場合は、樹木本来の樹形を壊すだけでなく、樹勢を弱める原因にもなっています。どうしても大枝を切る場合には適期に行い、切り口に殺菌剤を塗布すると影響が最小限に抑えられます。

特に、アカマツやケヤキなどに葉が褐変したり、落葉したりするなどの症状が顕著に現れます。このようにしてみますと、人間側から与えている原因がいくつに多いか驚いてしまいます。

最近多く見られるのが、生育している樹木の根元回りの雑草を除去するのに除草剤を散布したため、生育不良や枯損を引き起こしている例です。

日常のほんのちよつとした心くばりで、樹木を生き生きとした樹勢に保つことができるのです。上手に樹木と暮らすための第一歩は、樹木とのかかわりを大切にしながら、身近にある樹木の置かれている環境についても一度見直してみる事です。

上手に樹木と暮らすための第一歩は、樹木とのかかわりを大切にしながら、身近にある樹木の置かれている環境についても一度見直してみる事です。

上手に樹木と暮らすための第一歩は、樹木とのかかわりを大切にしながら、身近にある樹木の置かれている環境についても一度見直してみる事です。

# 県産きのこの品質を競う

## 第十四回山形県きのこ品評会開催

去る十一月三十日、十二月一日の両日にわたり、酒田市の庄内経済連ビル大会議室において、山形県きのこ振興会主催の第十四回山形県きのこ品評会が開催されました。

この品評会は、県産きのこの品質、栽培技術の向上と、生産意欲の高揚を図るために昭和六十二年年度から開催しており、県内各地域の生産者が丹精込めてつくったきのこ百十三点が出品され、「生しいたけ」、「なめこ」、「えのきたけ」、「ひらたけ」、「ぶなしめじ」、「まいたけ」、そして今回から新たに出品対象品目となった「エリンギ」の七品目について、形状、色合い、品揃い

などの基準により審査が行われました。

回を重ねるごとに生産者の技術レベルの向上が目覚ましく、特に今回は菌床しいたけの出品数の増加とともに品質の良さが目立ち、出品物はいずれも甲乙付け難い出来栄でした。

審査委員長の山形県森林研究研修センター所長をはじめとする審査委員による厳正かつ慎重な審査の結果、下表のとおり農林水産大臣賞など二十点の入賞者を選考し、受賞者への表彰が行われました。

表彰式終了後、出品されたきのこの即売会が開催され、大勢の方々が生産者から直接きのこを購入し、品質を競った。

第14回山形県きのこ品評会受賞者一覧表

	賞	市町村	氏名	部門
最優秀	農林水産大臣賞	八幡町	相蘇 俊次	生しいたけ(原木)
	林野庁長官賞	鮭川村	小笠原 仁	なめこ(ビン)
	山形県知事賞	小国町	渡部 茂雄	生しいたけ(菌床)
優秀	山形県経済農業協同組合連合会会長賞	米沢市	足立 武	生しいたけ(菌床)
	山形県庄内経済農業協同組合連合会会長賞	酒田市	斎藤 元生	生しいたけ(菌床)
	山形県森林組合連合会会長賞	最上町	板垣 隆	生しいたけ(原木)
	山形丸果中央青果株式会社社長賞	鮭川村	田中 豊	なめこ(ビン)
優	株式会社山果社長賞	白鷹町	安部 好和	生しいたけ(菌床)
	株式会社庄果社長賞	鶴岡市	佐藤 一郎	えのきたけ
	丸果庄内青果株式会社社長賞	鶴岡市	今野 喜好	ぶなしめじ
良	山形県きのこ振興会会長賞	鮭川村	栗田 喜一	生しいたけ(原木)
	〃	河北町	鈴木 重男	〃
	〃	温海町	本間喜一郎	〃
	〃	平田町	佐藤 淳	生しいたけ(菌床)
	〃	平田町	佐藤嘉千子	なめこ(袋)
	〃	平田町	阿部芳太郎	〃
良	〃	新庄市	矢口 進一	ひらたけ(ビン)
	〃	遊佐町	高橋 義勝	ひらたけ(出荷形態)
	〃	鮭川村	荒木 正人	まいたけ
	〃	鶴岡市	太田 裕徳	エリンギ



農林水産大臣賞

のきのこを買い求めていました。  
〔県森林課〕



審査状況

現地ルポ

好評！「森の社交場」

森林オーナー制実施から一年を経過して

平成十一年度に、南陽市荻生産森林組合が森林オーナー制を実施しており、昨秋で一年が経過したことから、その活動状況等について紹介します。

契約地は、組合所有の四十二年生広葉樹林の山二十区画で、隣市町在住者十六名となつています。

晴れた週末には家族、友人、のんびり一人で、とそれぞれに楽しい一時を過ごしているようです。

また、オーナーの「隠れ家」を覗いてみると、きのこの植菌はもちろんのこと、簡易小屋を建てている人、草刈りをし花木を植栽している人、簡易かまど

で野外料理を楽しむ人等、各々森林にある素材を活かしながら森林空間を有効活用しています。

平成十一年の開始と同時に、オーナー相互の親睦等を図るためオーナー会を設立し、年一回

総会、決算、懇親会等を実施しています。オーナー会役員は、会長、副会長、地区役員で構成されており、会長、副会長は区画番号順の一年交代制としています。

この他に組合では、きのこ用に立木を伐採してほしい、きのこ植菌、チェンソー等を購入したい、また、その扱い方の講習を受けたい等オーナーからの要望に親切に対応しています。

また、荻地区は以前から区有

林を活用したわらび園やきのこオーナー制を実施しており、春秋期は、特に区有林を訪れる人が多くなります。

そこで一般者と区別するため、ピンクの帽子を森林オーナーに配布し、区画内に立ち入るときは必ず着用するようにし、地元住民とのトラブルを未然に防止するようにしております。



薪の準備に精を出すオーナー

昨年十一月には、荻生産森林組合主催のオーナー会が開催されました。きのこオーナーと森林オーナーの合同オーナー会で、県内各地から約七十名が出席し、家族ぐるみでの参加も見られました。組合からオーナー事業の現状報告の後、なめこ汁や突き入れ餅などの手作り料理が振舞われ、杯を交わしながら森林談義に花を咲かせていました。

荻地区は、わらび園やきのこオーナー制など、以前から都市住民との交流を積極的に行ってきた経験があり、森林オーナー制の実施により、オーナーと地元住民とが、森林の維持管理や里山の活用という新たな取り組みを通じて、更なる活発な交流ができ、今後の森林の在り方を共に考え、また活動できる関係になればと期待しています。

〔東南置賜地方事務所林業振興課〕



# 流域林業活性化シンポジウム開催される

「すすめよう！ふるさと」の木を使った住まいづくり

## ◆はじめに

「すすめよう！ふるさと」の木を使った住まいづくり」をテーマに、十一月一日（水）白鷹町パレス松風で百五十名が参加し、第三回流域林業活性化シンポジウムが、県内三流域林業活性化センターの主催により開催されました。このシンポジウムは、林業関係者始め建築関係者や一般民の参加により、山形のスギについて考える貴重な場として定着してきたところです。

## ◆基調講演

講師に東京大学名誉教授で（財）日本木材総合情報センター「木のなんでも相談室」室長の岡野建氏をお迎えし、「木の家に住もう」と題し、基調講演がありました。

氏は、床のダニ、カビ、腐朽菌防止の他、各種科学的根拠により住宅は木で造ることが人間生活にとって好ましいことや、森林は伐採を適度に繰り返すことにより炭素固定を最大限図ることが出来るなど地球環境問題にも触れられ、グローバルな視点から数々の指摘をされました。そして、各化石燃料の枯渇年数を示されながら、やがては木材という循環資源の利用可能枠内でエネルギーを使用する時代となることから、家づくりにおいては、日本でも欧米同様九十年以上長持ちする家づくりを心掛けること、太い断面の木を使用すること、可能な限り木を使用することと結論されました。

その後、シンポジウムに移り、各界を代表するパネラーからの発表に基づき活発な討論が行われ、会場からも木の良さをもっと知ってもらうためにも上下流のネットワークづくりに期待したいなどの意見が出されました。

## ◆シンポジウム

その後、シンポジウムに移り、各界を代表するパネラーからの発表に基づき活発な討論が行われ、会場からも木の良さをもっと知ってもらうためにも上下流のネットワークづくりに期待したいなどの意見が出されました。

### パネラー発言要旨

#### ◎砂山 隆司氏

資源循環利用のための森林整備や流域事業の円滑実施を図る。（置賜森林管理署 流域管理調整官）

#### ◎横澤 米次氏

地元材の需要拡大や材の安定供給は工夫次第で十分可能であり、価格安定のためには基盤整備等の公的支援の継続を願う。（西置賜ふるさと森林組合 代表理事常務）

#### ◎山口 英秋氏

製材部門は待っている仕事は来ない。一方で、森林整備の遅れによる材質低下が懸念される。

#### （株）山芳製材所 代表取締役

#### ◎高橋 伸一氏

他県の業者が製品持参で売り込みに来ている。ぜひ地元材の入手方法を教えてもらいたい。工務店等でも健康住宅等を取り入れることにより、大手ハウスメーカーに対抗できる。

#### ◎目黒 勝次氏

（高橋建築設計事務所 所長、一級建築士）  
施主と職人との繋がりが薄れつつある。今の若い施主で地元材にこだわる人は少ない。

#### （米沢地区建設センター 会長）

## ◆おわりに

全パネラーの結論として、共通して切望されていたことがモデルハウス展示、話し合いの場づくりやネットワークづくりでした。二十一世紀となり、ますます流域林業活性化センターへの期待が高まります。

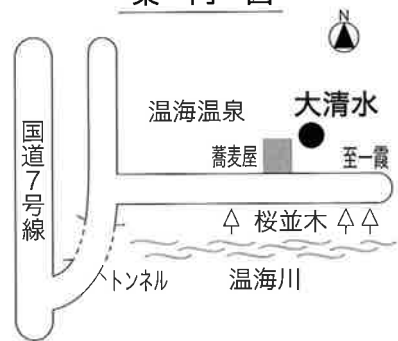
〔県森林課〕



温海温泉から一霞の方に行くと、左手に大清水という蕎麦屋さんがあり、その庭続きに小さな公園があります。ここが酒井の殿様が湯治に来たとき飲んだ「御清水」と呼ばれる清水でした。明治時代に蕎麦屋の主人が今の名前に変えたといわれています。  
 豊かな水量と冷たい水、温泉で温まった体に美味しくない訳はなく、今も水を汲む人の影が絶えることはありません。(山形県森林協会)



案内図



山形県の古木・名木⑳  
 総光寺参道のキノコスギ

元和年間、総光寺二十八世儀春和尚が植えて以来、今日まで毎年刈込み、形態が茸形となったので、キノコスギと言うようになったものである。このスギは、最上川横谷地帯(古口、清川間)に自生する一品で、土湯スギ(或いは山ノ内スギ)を植栽したもので、幹径30~40cmに及ぶものがあり、樹齢おおよそ350年といわれている。

昭和31年9月山形県天然記念物に指定。

(山形県森林協会)

**謹賀新年**

21世紀の緑を美しく  
安らぎと輝きの森林と水を求めて



社団  
法人

**山形県林業コンサルタンツ**

理事長 菅原 六郎

山形市松栄一丁目5番41号 TEL (023)647-1800  
FAX (023)647-1801



広げよう 緑をはぐくむ輪

財団  
法人

**山形県みどり推進機構**

理事長 細野 武司

〒990-2363 山形市大字長谷堂字馬場2265  
TEL (023)688-6633  
FAX (023)688-6634

**謹賀  
新年**

**環境を守ろう**

災害に強い県土を  
良質な水の安定供給を  
緑豊かな環境づくりを

**森林を育てよう**

山村の生活環境の整備を  
森林の恵みの循環利用を

**山形県森林土木建設業協会**

山形市桜町2-35(林業会館内)  
電話(023)632-3893 FAX(023)632-5454

**賀正**

**信頼の森林づくり**

地域に根ざした豊かな森林をつくります  
いろいろな森林体験ができます

**財団法人山形県林業公社**

山形市鉄砲町二丁目19番68号  
TEL 023-623-3505





国民の森林・国有林

限りない安らぎ  
心豊かな 木の住まい

# 東北森林管理局

〒010-8550 秋田市中通五丁目9-16

賀正

## 緑のアドバイザー



財団法人 **林野弘済会秋田支部** 支部長 石岡 保

〒010-0001 秋田市中通5-9-16(東北森林管理局内)  
TEL 018(832)4040 FAX 018(835)6837  
山形出張所 〒990-0021  
山形市小白川町5-28-8(蔵王森林センター内)  
TEL・FAX 023(641)1024



素材	樹材種	材長	品等	1m <sup>3</sup> 当り価格	前月比較		
	スギ小丸太	3.65~4.00m	込	11,800円	-300		
スギ中丸太	//	//	16,700円	-100			
スギ大丸太	//	//	19,000円	-700			
材	米マツ中丸太	6.0m~	普通材	19,700円	+100		
	米マツ大丸太	//	//	23,600円	0		
	北洋アカマツ中丸太	3.8~	//	16,400円	+600		
製品	樹材種	厚	幅	長	品等	1m <sup>3</sup> 当り価格	前月比較
	スギ柱	10.5cm	10.5cm	3.00m	特等	61,100円	-800
	米マツ柱	10.5cm	10.5cm	4.00m	//	59,500円	+500

木材市況  
(十二月一日現在)

印刷所  
渡辺活版所  
定価  
一部二〇円



森林やまがた 1月号 平成13年1月1日発行 通巻第46号

編集 山形県森林協会 山形県  
発行 山形県森林協会  
〒990-0045 山形市桜町2-35 林業会館内  
TEL 023-631-6566 023-622-8823  
FAX 023-631-6573